

100年に向けたゆまず進化

新潟県アス 合材協会 創立50周年記念式典

新潟県アスファルト合材協会（海野正美会長）は23日、新潟市中央区のグランドホテルで「協会創立50周年記念式典」を開いた。写真。式典で海野会長は、同



協会は第1次オイルショックのさなかの1974年3月10日に発足したこと、以来、人々の暮らしを支える基盤の社会インフラである道路整備に不可欠なアスファルト合材の製造、供給に取り組んできたこと、新潟県中越地震、中越沖地震では自分たちの被災をいとわず地域に貢献してきたことなどを紹介。

続けて、「資材価格の上昇、工事量の減少など現在はアスファルト合材の安定供給に不利な環境にある。だが、いかなる環境でも合

材の安定供給と良質な品質を保つための管理は失することはできない。先人の意思を受け継ぎ、創立100周年を目指し、安定供給と信頼できる品質の確保に向けて、たゆまず進化を続ける」と語った。

花角英世新潟県知事、中原八一新潟市長ら来賓祝辞の後、フリーキャスターで事業創造大学院客員教授の伊藤聡子氏による記念講演会「地域経済の活性化が、日本の元気を取り戻す鍵」が行われた。

